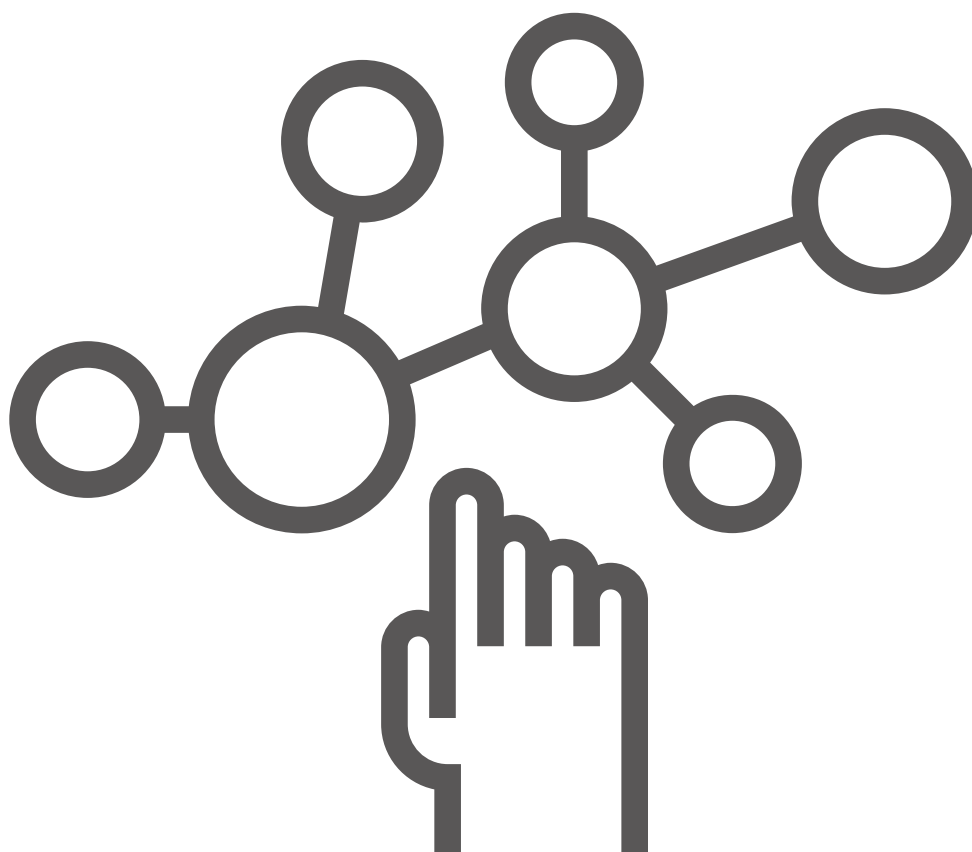


THE 37TH JAPANESE ACADEMY OF
SENSORY INTEGRATION CONGRESS IN HYOGO

感覚統合療法の 通になる

第37回日本感覚統合学会研究大会 in 兵庫

プログラム抄録集



会期 2019年10月26日(土)・27日(日)

会場 姫路獨協大学

主催：一般社団法人 日本感覚統合学会

INDEX

第37回日本感覚統合学会研究大会 大会長挨拶	2
一般社団法人日本感覚統合学会 会長挨拶	3
大会案内	4
会場アクセス	5
交通機関のご利用について	7
会場案内図	8
託児室のご案内	9
交流会のご案内	9
発表要綱	10
大会スケジュール	12
プログラム	14
抄 録	
教育講座1 「自閉スペクトラム症の感覚過敏の認知神経基盤」	20
教育講座2 「脳内身体表現と運動制御のシステム」	21
教育講座3 「“触れる”を楽しく科学する ～触楽入門～」	22
特別企画	23
演題発表に向けた特別講座	24
アート演題発表	25
口述発表	28
ポスター発表	34
次大会案内	38
協賛企業一覧	39
大会実行委員	40

第37回日本感覚統合学会研究大会

大会長挨拶



第37回日本感覚統合学会研究大会

大会長 太田 篤志

『感覚統合療法の通になる』

あなたは、自分の知識に満足していますか。

感覚統合療法の基盤・エビデンスとなる知識を得たいと思いませんか。

感覚統合療法界の人間国宝のアートな想いに触れてみたいと思いませんか。

この度、第37回日本感覚統合学会研究大会を10月26日・27日、兵庫県姫路市で開催することになりました。私が本学会研究大会の運営に初めて携わったのは1993年の長崎大会、まだ発達障害という用語が世の中に殆ど浸透していない時代でした。当時の研究大会は感覚統合のみならず発達障害のことを世の中に啓発していく、そのような意味合いが大きかったと思います。それから四半世紀がたち、発達障害に対するアプローチ法がめじろおしとなった今、日本感覚統合学会の在り方や研究大会の中身も大きな転換期にあると感じています。

感覚統合療法を実践していくためには、幅広く深い知識と臨床経験の積み上げによって得られる技術が必要です。本大会は、啓発的な内容ではなく、感覚統合療法の実践力を高めたいと考えられている学会会員の方を主な対象と考え、感覚統合療法の基盤となる知識、アートに触れることができる機会となることを目指しています。

「あなたも姫路で、感覚統合療法の通になる！」

感覚統合療法セラピストとして精進したい人のお役に立てれば幸いです。

一般社団法人 日本感覚統合学会

会長挨拶



一般社団法人 日本感覚統合学会
会長 土田 玲子 NPO 法人なごみの杜 代表理事

日本感覚統合学会が、感覚統合理論とその実践に興味を持つ有志の研究会としてスタートして、今年で38年目を迎えます。この理論はアメリカの作業療法士 J. A. Ayres 博士によって体系化されたものですが、当時はまだ北米を中心とした作業療法士の間のみ知られていた理論でしたので、日本では興味があってもなかなかきちんと理論を学ぶ機会がない状況でした。そこで当学会は、直接アメリカでこの理論を学ぶことができたメンバーとともに、日本でこの理論に興味を持たれる方々のニーズに応えるべく様々な講習会を企画してまいりました。

現在日本は空前の『発達障害ブーム?』で、この理論に興味を持たれる方々も急増しています。それに伴い会員数も増え、片手間の学会運営では追いつかない状況になってまいりました。そこで、今年度より一般社団法人化に大きく一步を踏み出す決心をいたしました。そして今後も子ども達の豊かな発達を支援すべく、この活動を広げていきたいと考えています。

そのために必要なことは、世界中の仲間と連携してこの理論の発展と深化(進化)に寄与すること、そしてしっかりした臨床実践を行える人材を輩出することだと考えます。

感覚統合療法は、子どもたちの内的欲求や成功体験(適応反応)を重視するため、一見楽しく、簡単に実践できるように思われがちです。確かに子どもたちの遊び行動は、自然な自分育ての行動ですので、その価値を理解し、遊びを保証することだけでも大いに意義があることではあります。しかし、そこが感覚統合療法に対する誤った認識や実践にもつながりやすいことは、皆さん周知のことと思います。

そこで本大会は「感覚統合療法の通になる」というテーマで、感覚統合理論の核を押さえた実践や、この理論を支える新しい基礎研究の成果を中心に学ぶ大会にしたいと考えております。

本大会が、会員一堂が集い、学びあえる貴重な機会となることを祈念しております。

大会案内

大会受付

- 当日受付はありません。そのまま会場にご入室ください。
- 開場時間は10月26日(土) 8:45～、27日(日) 8:45～です。
- 当日は、事前に大会事務局から郵送された参加証を必ずご持参ください。
- ネームホルダーは各自でご準備ください。会場内での着用をお願いいたします。
- 講師・司会・座長・演者の方は、運営事務局(小講義室305B)にて各自受付をお願いいたします。
- その他、ご用のある方は、運営事務局(小講義室305B)までお越しください。

会場について

- メイン会場は創立20周年記念ホール(講義棟3階)です。サテライト会場1・2(中講義室301C・302C)を設置し、メイン会場を中継します。教育講座、特別講座、特別企画、口述発表、アート演題、総会を行います。
- ポスター会場は小講義室304Bです。
- 書籍販売はラウンジです。

クロークについて

- 小講義室305Bに設置しています。
- 利用時間は、10月26日(土) 8:45～17:00、27日(日) 8:45～15:50です。
- ご利用は手荷物に限らせて頂きます。貴重品・パソコンはご遠慮ください。

食事について

- 事前にご予約いただいたお弁当の配付および空き容器の回収は運営事務局(小講義室305B)の前で行います。
- 配付および空き容器の回収時間は、11:00～14:00です。
- 持ち込まれたお弁当等のゴミは各自でお持ち帰りください。
- メイン会場での飲食はご遠慮ください。サテライト会場1・2は飲食可能です。また、両日とも学生食堂もご利用できます。オーダーも可能であり、昼食会場としてもご利用できます。

駐車場について

- 学生用駐車場を1回200円でご利用いただけます。
- 学生駐車場の位置は、抄録集の会場案内図でご確認ください。

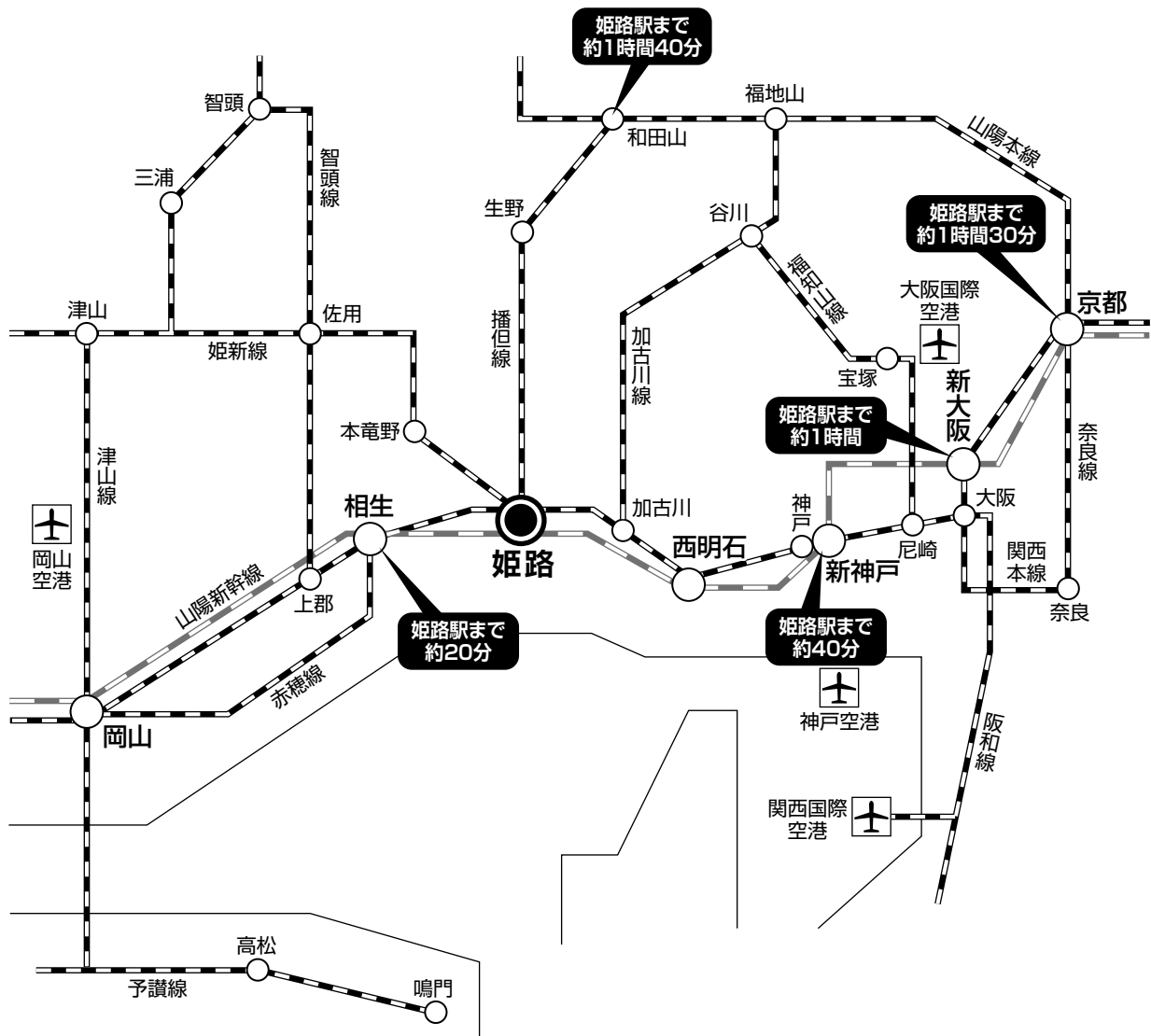
喫煙所について

- 大会会場は館内全面禁煙です。ご協力の程、よろしくをお願いいたします。

日本作業療法士協会会員の方へ

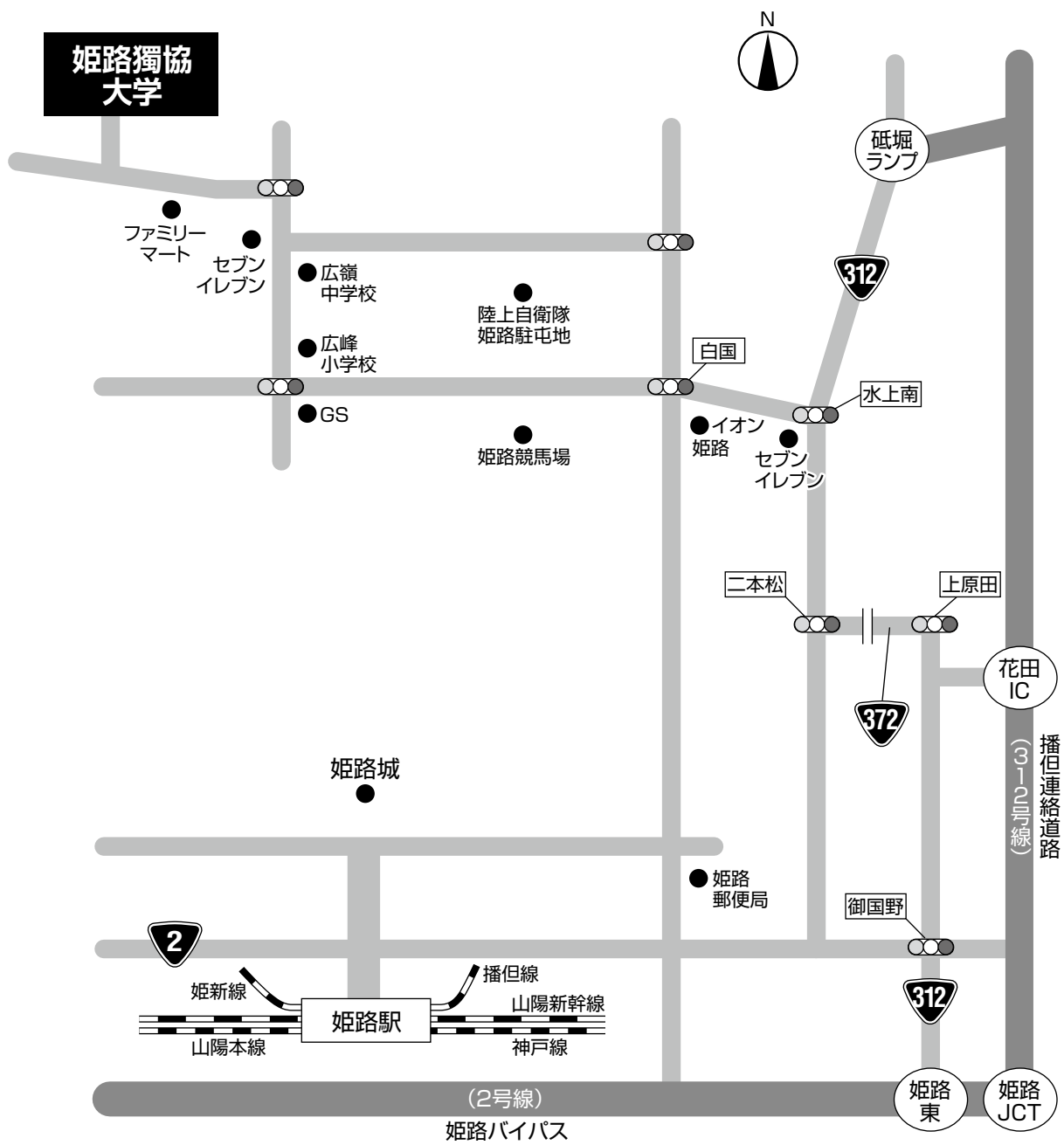
- 本学会はSIGに認定された団体です。所属する各都道府県士会に申請することで、基礎研修ポイントが付与されます。
- 本学会で発表された演者の方は、上記基礎研修ポイントがさらに付与されます。詳しくは各都道府県士会にお問い合わせください。
- 運営事務局(小講義室305B)で配付しておりますので、ご入り用の方は、各自で受付までお越しください。

会場アクセス



- 空港から
 - 神戸空港(ポートライナー) — 三宮→姫路……約1時間
 - 関西国際空港(空港バス) — 姫路……………約2時間
 - 大阪国際空港(空港バス) — 姫路……………約1時間20分
- 山陽自動車道
 - 山陽姫路東ICから車で ——— 姫路東IC→姫路獨協大学…………約15分
 - 山陽姫路西ICから車で ——— 姫路西IC→姫路獨協大学…………約15分
 - 姫路バイパス ——— 姫路南ランプ→姫路獨協大学… 約30分
(姫路南ランプから車で)

※所要時間はあくまで目安です。乗り換え時間を含みません。



■ 路線バス……「姫路駅」から「姫路獨協大学」まで約30分

交通機関のご利用について

- 会場までの交通機関は、「貸し切りバス、路線バス、タクシー」の3通りあります。
- 大会側から貸し切りバスを運行します。有料になります。

1) 運賃：片道260円(釣り銭のないようにお願いします)

大会スタッフが乗降の際に集金させていただきます。

運賃は、姫路駅から姫路獨協大学までの金額と同じです。

2) 姫路駅からの乗り場：姫路駅南口(下記の地図をご参照ください)

3) 出発時刻：

10月26日(土) 8:45 3台(姫路駅から出発)

10月26日(土) 17:05 3台(大学から出発)

10月26日(土) 19:20 3台(大学から出発)

10月27日(日) 8:45 3台(姫路駅から出発)

10月27日(日) 16:10 5台(大学から出発)

※出発時刻は、多少ずれ込むことがありますので、予めご了承ください。

JR 姫路駅南バスターミナル



【重要】貸し切りバスの台数には、限りがありますので、路線バス・タクシーもご利用ください。

- **路線バス乗り場：**姫路駅北口

JR 姫路駅・山陽電鉄姫路駅前から神姫バス「姫路獨協大学行き」又は、「姫路獨協大学經由大寿台行き」に乗車し「姫路獨協大学」で下車してください。

- **路線バスの運行時刻：**

姫路駅→大学

【8番乗り場】医療センター経由 姫路獨協大学・大寿台／広峰 8:10、8:40、8:55

【9番乗り場】西高前経由 姫路獨協大学・大寿台／田寺北口 8:20、8:50

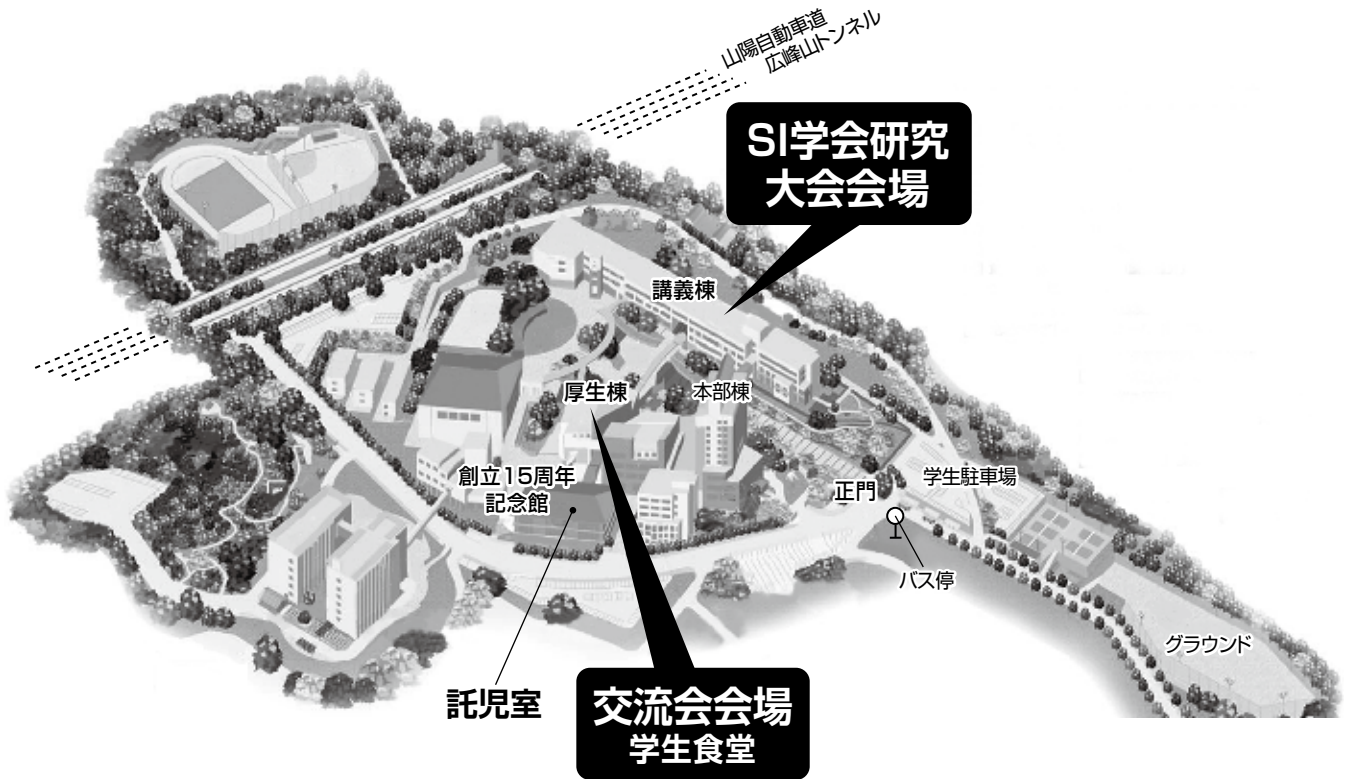
大学→姫路駅

26日(土) 16:55、17:14、17:29、19:43

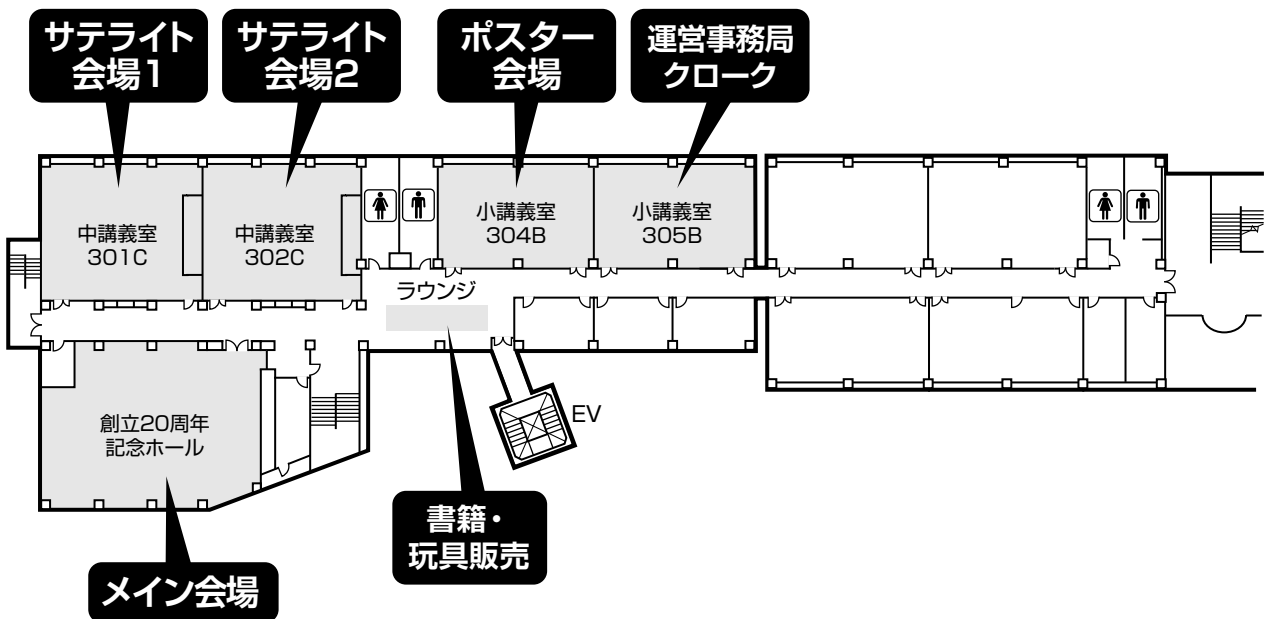
27日(日) 15:55、16:26、16:55

- **タクシー乗り場：**姫路駅北口、南口どちらにもあります。

会場案内図



3F



託児室のご案内

本大会では、子育て中の方にも安心してご参加頂けるよう、子育て応援隊スマイルキッズ様のご協力のもと、託児室を設けております。ご利用頂ける方は、事前にお申し込み(8月30日締切)されている方に限ります。当日のお申し込みは受付けておりませんので、ご注意ください。

【託児室開所時間】

- 1日目：10月26日(土) 9:20～17:00
- 2日目：10月27日(日) 9:20～15:50
- プログラムの時間が変更になった場合は、託児時間も変更になります。その場合は、連絡させていただきます。

【託児室の場所】

- 創立15周年記念会館内のプレイルーム

【利用に当たっての注意事項】

- 当日は、運営事務局(小講義室305B)にて、ご利用料金(1,000円/1日)のお支払いを済ませてから、託児室をご利用ください。
- 昼食時間は、一旦、保護者様にお迎えに来て頂き、各自で昼食をとってください。
- 託児利用時間中、お子様に体調不良が生じた場合は、直ぐに保護者様の携帯電話に連絡させていただきます。必ず着信に気がつける状態で携帯電話をお持ちください。

交流会のご案内

本大会では、従来のようなレセプションではなく、気楽に、安価に、役立つ交流会を開催したいと考えています。久しぶりの仲間との再会や新たな出会いの場として活用してください。

さらに会員の皆様からのご意見などをお聞きする場なども設けたいと考えています。飲食物は、ソフトドリンクと軽食オードブルのみの予定です。

1日目の終了後、まずは大会会場の交流会で仲間と合流し、本格的な宴会(2次会)は、姫路の夜の街に繰り出して頂ければ幸いです。

日 時：2019年10月26日(土) 受付開始：16:30

時 間：17:00～19:00

会 場：姫路獨協大学 学生食堂「カフェ・三重奏(トリオ)」

会 費：2,000円

〈注意事項〉

交流会へのご参加は、大会にご参加される方に限らせていただきます。ご了承ください。

交流会の参加申込いただいた後のキャンセルはできません。

交流会の参加は、事前登録が必要です。当日参加はできませんので、くれぐれもご注意ください。

発表要綱

口述発表

演者(口述発表)の皆様へ

1. 口述発表の方法

- 1) 発表は座長の進行のもと行います。
- 2) 発表時間は下記のとおりです。時間厳守をお願いいたします。
研究報告・実践報告－発表10分 質疑応答5分
- 3) 抄録原稿は、提出期限以降の修正・差し替えを希望されてもお受けできません。
- 4) 10月26日(土)9:00～10:30までに運営事務局(小講義室305B)にて演者受付を必ず行ってください(受付・集合時間を参照)。

2. 口述発表の環境

- 1) 発表は、PCプレゼンテーションとします。
- 2) パソコンは学会側で準備します。個人では持ち込めません。
学会で準備するパソコンはOS: Windows10、Office 365 (Microsoft Office Power Point 2019)を予定しています。
- 3) データは、USBもしくはCD-Rでご持参ください。
- 4) スライドはWindows版Microsoft Office PowerPointで作成してください。PDFのデータでも可能とします。Macintoshは使用できません。
- 5) フォントはWindowsに標準装備されているもののみ(MS・MSP明朝、MS・MSPゴシック、Times New Roman、Century)使用が可能です。
- 6) 動画の使用が可能です。動画はWindows Media Player(動画保存形式WMVのみ可)に限定します。
- 7) スライド枚数に制限はありませんが、発表時間を厳守してください。
- 8) PowerPointの発表スライドには、必ずファイル名(発表者名－発表演題名)を付けてください。
- 9) 発表用ファイルは必ずウイルスチェックを行なってください。また、保存ファイルが作成されたPC以外の環境でも再生できることを事前にご確認ください。

3. 受付・集合時間等

- 1) 10月26日(土)9:00～10:30までに運営事務局(小講義室305B)にて受付を行い、データを預けてください。27日(日)発表の方も上記の日時でお願いします。
- 2) 発表セッション10分前までには会場指定の席(次演者席)にて待機をしてください。
- 3) 口述発表では会場での資料配布はできません。

4. 発表スライドデータの提出と動作確認について

- 1) スライドデータの提出・動作確認は、上記受付時に行いますが、日時の詳細は、各自にメールにて連絡します。
- 2) 万が一の機器トラブルに備え、バックアップとして別のUSBもしくはCD-Rをお持ちください。

座長(口述発表)の方へ

- 1) 当該セッション15分前までに運営事務局(小講義室305B)にて受付を行ってください。
- 2) 当該セッション10分前までに会場へお越しください。

ポスター発表

演者(ポスター発表)の皆様へ

1. ポスター発表の方法

- 1) 座長は立てず、自由討議とします。発表者は指定された時間にポスターの前に立ち、参加者と討論してください。
- 2) 10月26日(土)9:00~10:30、運営事務局(小講義室305B)にて演者受付を必ず行ってください。

2. ポスター掲示の環境

- 1) ポスターサイズは、縦120cm×横85cm規定(A3で8枚分)です。
- 2) ポスター最上部には、上記のポスターサイズに収まるように演題名と発表者の氏名・所属を掲示してください。それ以外の部分をご自由にお使いください。
- 3) 掲示に必要な画鋏・テープ等は大会運営側で準備します。
- 4) 文字は2m程離れた位置からでも読める大きさにしてください。
- 5) 配布資料やアンケート等がある場合は各自で準備してください。机等のポスターパネル以外のご使用はできません。

3. ポスターの掲示および撤去時間

- 1) 掲示場所は、受付時にお知らせいたします。掲示は10月26日(土)9:00~10:30に掲示してください。27日のみご参加の方は、発表当日9:00~9:20に掲示してください。
- 2) 撤去は10月27日(日)14:50~15:30に行ってください。
- 3) 撤去時間を過ぎても掲示してあるポスターにつきましては、大会運営側で撤去処分いたしますので、予めご了承ください。ポスターはマナーを遵守し、各自で必ずお持ち帰りください。

4. 当日の集合時間

発表セッション10分前までにはご自分のポスターパネルの前で待機をしてください。

大会スケジュール

1日目 2019年10月26日(土)

	メイン会場 創立20周年記念ホール	サテライト会場 中講義室301C・302C	ポスター会場 小講義室304B	ラウンジ
8:45	8:45～			
9:00	会場入室			8:45 ～ 17:00
	9:30～9:40		9:00～10:30	書籍・玩具販売
	開会式		ポスター掲示	
10:00	9:45～11:00			
	演題発表に向けた特別講座 感覚統合療法の効果～これからの研究に向けて～ 講師：伊藤 祐子氏 ：立山 清美氏 ：山西 葉子氏			
11:00	11:10～12:00		ポスター閲覧	
	口述発表 I	メイン会場の中継		
12:00	昼食			
13:00	13:00～14:30			
	教育講座1 自閉スペクトラム症の感覚過敏の 認知神経基盤 講師：井手 正和氏			
14:00	14:45～16:45			
	教育講座2 脳内身体表現と運動制御のシステム 講師：内藤 栄一氏			
15:00				
16:00				
17:00	17:00～19:00	交流会 会場：学生食堂（厚生棟）		

2日目 2019年10月27日(日)

	メイン会場 創立20周年記念ホール	サテライト会場 中講義室301C・302C	ポスター会場 小講義室304B	ラウンジ
8:45	8:45～			8:45
9:00	会場入室			14:50
10:00	9:30～10:20 口述発表Ⅱ		9:30～10:20 自由討議	書籍・玩具販売
11:00	10:30～11:10 アート演題発表 演者：梶谷 竜之介氏 那須 弘明氏		10:20～14:50 ポスター閲覧	
12:00	11:10～12:40 特別企画 達人が自身に課してきた3ルール 講師：土田 玲子氏 小西 紀一氏	メイン会場の 中継		
13:00	昼食			
14:00	13:30～15:30 教育講座3 “触れる”を楽しく科学する ～触楽入門～ 講師：仲谷 正史氏		14:50～15:30 ポスター撤去	
15:00	15:30～15:45 閉会式			
16:00				

プログラム

教育講座1

10月26日(土) 13:00～14:30 メイン会場(3F 記念ホール)

司会：太田 篤志(プレイジウム)

自閉スペクトラム症の感覚過敏の認知神経基盤

井手 正和 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 脳機能系障害研究部

教育講座2

10月26日(土) 14:45～16:45 メイン会場(3F 記念ホール)

司会：太田 篤志(プレイジウム)

脳内身体表現と運動制御のシステム

内藤 栄一 国立研究開発法人 情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター

教育講座3

10月27日(日) 13:30～15:30 メイン会場(3F 記念ホール)

司会：太田 篤志(プレイジウム)

“触れる”を楽しく科学する ～触楽入門～

仲谷 正史 慶應義塾大学 環境情報学部 准教授

特別企画

10月27日(日) 11:10～12:40 メイン会場(3F 記念ホール)

司会：加藤 寿宏(京都大学大学院医学研究科)

達人が自身に課してきた3ルール

土田 玲子 NPO 法人 なごみの社、一般社団法人 日本感覚統合学会 会長

小西 紀一 姫路獨協大学 名誉教授、一般社団法人 日本感覚統合学会 認定講習会 講師

感覚統合療法の効果 ～これからの研究に向けて～

伊藤 祐子 首都大学東京 健康福祉学部 作業療法学科 准教授
立山 清美 大阪府立大学 地域保健学域 総合リハビリテーション学類 作業療法学専攻 准教授
山西 葉子 県立広島大学 保健福祉学部 作業療法学科 助教

アート演題発表

10月27日(日) 10:30～11:10 メイン会場(3F 記念ホール)

座長：嶋谷 和之(奈良県総合リハビリテーションセンター 作業療法士)

子供の反応をもっと感じ取れるようになりたい！ ～人とのやり取りが難しい事例を通して～

梶谷 竜之介 奈良県総合リハビリテーションセンター 作業療法士

跳び箱を跳べるようになりたいなどの主訴を持つ 小学4年生の女兒への感覚統合療法

那須 弘明 岩手県立療育センター 作業療法士

口述発表 プログラム

口述発表Ⅰ [研究]

10月26日(土) 11:10～12:00 メイン会場(3F 記念ホール)

司会：岩永 竜一郎(長崎大学 生命医科学域)

I-1 自閉スペクトラム症状と感覚処理特性の関連性について 知的障害の有無に着目して

野田 遥 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科

I-2 自閉スペクトラム症者の補足運動野の GABA 濃度低下が 四肢の協調運動に及ぼす影響

梅沢 侑実 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 脳機能系障害研究部

I-3 当院小児心療科に入院する子ども達の感覚特性について

原田 洋平 長崎県立こども医療福祉センター

口述発表Ⅱ

10月27日(日) 9:30～10:20 メイン会場(3F 記念ホール)

司会：黒淵 永寿(自治医科大学附属病院)

[実践]

Ⅱ-1 揺れ遊具を怖がる幼児に対する感覚統合療法の効果

飛田 孝行 社会福祉法人鶴風会 東京小児療育病院 リハビリテーション部

[研究]

Ⅱ-2 発達障害リスク早期発見のための新検査の開発 ～予備調査の進捗報告～

鴨川 拳 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科

[研究]

Ⅱ-3 発達障がい児に対する感覚統合療法の効果 —ゴール達成スケールリングおよび JMAP を用いた検討—

立山 清美 大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究所

ポスター発表 プログラム

ポスター発表

10月27日(日) 9:30～10:20 ポスター会場(3F 小講義室304B)

[研究]

P-1 小児における口腔内表象と歯肉炎との重要な関係

辰巳 光世 医療法人 榎の木会 さわやか歯科

[研究]

P-2 感覚応答性に基づく自閉スペクトラム特性の多様性の検討

矢口 彩子 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 脳機能系障害研究部

[実践]

P-3 不器用さを持つ ASD 児に対する介入事例
～学校版感覚運動アセスメントの推移より～

西澤 文香 たすく株式会社

[実践]

P-4 手先の不器用さをもつ子どもたちに役立つ教師への助言
— 特別支援学級への訪問支援を通して —

佐々木 清子 日本リハビリテーション専門学校

A series of horizontal dashed lines for writing, starting below a solid top line and extending to the bottom of the page.

抄 録

教育講座

特別企画

演題発表に向けた特別講座

アート演題発表



自閉スペクトラム症の感覚過敏の 認知神経基盤

井手 正和

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 脳機能系障害研究部

略 歴

- 2004年4月～2008年3月
立正大学 心理学部 臨床心理学科
- 2008年4月～2010年3月
立正大学 心理学研究科 応用心理学専攻
修士課程
- 2010年4月～2014年3月
立教大学 現代心理学研究科 心理学専攻
博士課程後期課程
- 2014年3月～2014年8月
国立障害者リハビリテーションセンター
研究所 脳機能系障害研究部・発達障害
研究室 技術補助員
- 2014年9月～2015年3月
国立障害者リハビリテーションセンター
研究所 脳機能系障害研究部・発達障害
研究室 流動研究員
- 2015年4月～2017年6月
日本学術振興会 特別研究員 PD
- 2017年7月～現在
国立障害者リハビリテーションセンター
研究所・脳機能系障害研究部 研究員

近年、自閉スペクトラム症と感覚過敏との高い併存率について、統計学的・遺伝学に明らかになってきている。また、感覚過敏に関与する知覚特性が報告されてきたものの、その神経基盤については未解明である。我々は、中枢神経の代表的な抑制性の神経伝達物質である GABA に着目してきた。GABA 濃度の低下による神経の過剰な興奮が、高い刺激の処理精度に繋がっており、感覚過敏を引き起こすとの仮説の下で研究を進めている。これまでの研究から、前頭葉のいくつかの領域が、刺激の時間情報処理の精度を促進／抑制することが示唆された。また、時間情報処理精度は感覚過敏の程度と関係し、それには GABA 濃度の低下が関与する可能性を見出した。これらの知覚的な処理精度が、個々人の不安の程度によって調節されていることも明らかになりつつある。本講演では、自閉スペクトラム症者の感覚過敏に関わる脳の神経活動状態と、それを調節する分子的・心理的特性について論じる。

抄 録

口 述 発 表

ポスター発表

I-1 自閉スペクトラム症状と感覚処理特性の関連性について 知的障害の有無に着目して

The Relationship Between Autistic Traits and Sensory Processing Features among with and without Intellectual Disabilities

○野田 遥¹⁾、鴨川 拳¹⁾、井手 正和²⁾、徳永 瑛子¹⁾、岩永 竜一郎¹⁾

1)長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科、

2)国立障害者リハビリテーションセンター研究所 脳機能系障害研究部

【はじめに】 自閉スペクトラム症 (Autism Spectrum Disorder : ASD) 者の多くが感覚処理に関する問題を有しており、ASD 症状との関連性が示唆されている。また、感覚処理の問題は認知的機能に大きく影響を受けるため、知的な水準によって ASD 者の感覚処理の問題の質が異なる可能性がある。本研究では ASD 者の持つ感覚処理の問題と ASD 症状との関連性について、知的障害の有無で比較検討を行うことを目的とした。

【方法】 計12道県の自閉症協会を対象とし、ASD 児者の保護者に対して短縮版感覚プロファイル (The Short Sensory Profile : SSP) と対人応答性尺度第2版 (Social Responsiveness Scale, Second Edition : SRS-2) の配布を行った。また、同時に配布したプロフィールシートから全 IQ のデータを取得した。知的障害を全 IQ70 未満とし、知的障害の有無によって知的障害群と高機能群の2群に分けた。SSP の因子と SRS-2 の DSM-5 互換尺度について、t 検定によって平均値を比較した。また、項目得点間の関連性について調査するため、Pearson の相関係数を算出した。インフォームドコンセントについては、対象者が説明文書の内容を確認し、郵送にて質問紙を研究者に送付することを同意とみなした。本研究は当大学倫理委員会の承認を受けて実施された。

【結果・考察】 ASD 児者67名の保護者より返送された質問紙のデータを分析した。各群はそれぞれ知的障害群32名(男性25名、女性7名、平均年齢16.9 ± 8.4歳)、高機能群35名(男性28名、女性7名、平均年齢15.2 ± 7.1歳)であった。

分析の結果、知的障害群は高機能群に比べて、SSP の視覚・聴覚過敏性と SRS-2 の興味の限局と反復行動が有意に高く、全 IQ と正の相関が見られた。したがって、知的な問題が重いほど、これらの特徴が顕著であることが示唆された。また、知的障害群では SSP 全ての因子と SRS2 総合得点に有意な正の相関が見られたが、高機能群では触覚過敏性と味覚・嗅覚過敏性

において有意な相関が認められなかった。両群ともに触覚過敏性と味覚・嗅覚過敏性の平均値は有意な差がなく、どちらも SSP の「高い」分類に該当することから、高機能群は ASD 症状の程度に関わらず触覚・味覚・嗅覚の過敏性が高い可能性がある。また、知的障害群は高機能群に比べ、感覚処理の問題が重症度に比例して重くなることが示された。以上より、知的障害群と高機能群では感覚処理と ASD 症状の関連パターンが異なることが示唆された。

【利益相反の申告】 本研究は2017年度日本感覚統合学会研究助成を受けて実施された。その他開示すべき COI 等はない。

次大会案内

第38回 日本感覚統合学会研究大会

大会長：椎野 広久 こどもの発達研究室きりん

会 場：徳島市

どうぞお越してください！

【大会事務局】

専門学校 川崎リハビリテーション学院
〒701-0192 岡山県倉敷市松島672
E-mail : himeji.taikai.2019@gmail.com
担当 森川 芳彦

【学会事務局】

〒732-0828 広島県広島市南区京橋町8-10 青木ビル202
FAX : 082-569-5162
E-mail : si-jimukyoku2019@clock.ocn.jp
<http://www.si-japan.net>

第37回日本感覚統合学会研究大会プログラム抄録集
出版：株式会社セカンド／熊本市中央区水前寺4丁目39-11
TEL : 096-382-7793 FAX : 096-386-2025
<https://secand.jp/>